

今年の子年

今年(ねどし)は子年。十二支の一番手ですが、なぜ一番なのでしょう。これは昔、中国で時刻や方角を表すのに用いた子(し)、丑(ちゆう)、寅(いん)・・・の十二の方位に、それぞれ動物を当てはめたことによるものです。

ネズミは、齧(げっし)歯目(ネズミ目)ネズミ科に属する哺乳類。上下のあごにそれぞれ一对の大きな門歯があるのが特徴で、これは一生伸び続けます。子どもの乳歯が抜けると、「ネズミの歯になくれ」などと、家の屋根の上に向かって高く放り投げるのは、ネズミのようになしつかりとした丈夫な歯にあやかるうというものです。

一部の地域を除き、地球上に広く分布、生息するネズミは、その種類も約千八百にも及ぶといわれます。繁殖力が強いのは「ネズミ算的に増える」という言葉があることから分かります。一回に二十匹近く子を産む種類もあるようです。

昔は夜になると、ネズミが天井裏を走り回り、チュウチュウと鳴く声が聞こえたりしたものです。最近では純粋な日本家屋が減ってきているためか、家屋の構造が変わってきたからなのか、家の中でネズミの鳴き声を聞くことは

少なくなってきたようです。

ことわざにもしばしば登場します。弱者でも追い詰められると強い者に逆襲(ぎゃくそう)するという意味の「窮(きゆう)鼠(そ)猫(ねこ)を噛(か)む」や前ぶれの騒ぎばかりが大きくて、実際の結果は極めて小さいことのとえである「大山鳴動して鼠(ねずみ)一匹(ひとひき)」などはよく知られています。「頭の黒い鼠」とは、頭髪の黒い人間をネズミになぞらえて、物を盗む人のことです。「鼠の嫁入り」は、あれこれと選んでみても結局は変わりばえしないところに落ち着く(おちつく)というたとえです。

そのほか、「鼠がいなくなればその家に火災がある」「鼠が逃げ出すのを見たらその船に乗るな」などの俗説もあります。

数が多く、農作物や食料を食い荒らすなど決して評判はよくないネズミですが、それだけ人間にとって身近な動物ということでしょう。ネズミが逃げ出すような災いが来ないよう、今年も祈(いの)りたいものです。



リサイクルのコーナー

【お譲りください】

こいのぼり / バスタオル

【お譲りします】



ベビーベッド



ジューサー



調乳ポット



歩行器

上記のものを譲ってほしい方、または一度ご覧になりたい方はご連絡ください。また、ご家庭でまだ使えるけれど不用となった家具や電化製品などの情報をお寄せください。

お譲りください！

お譲りします！

問い合わせ・ご連絡先

企画課(広報統計係) ☎ 52-2115